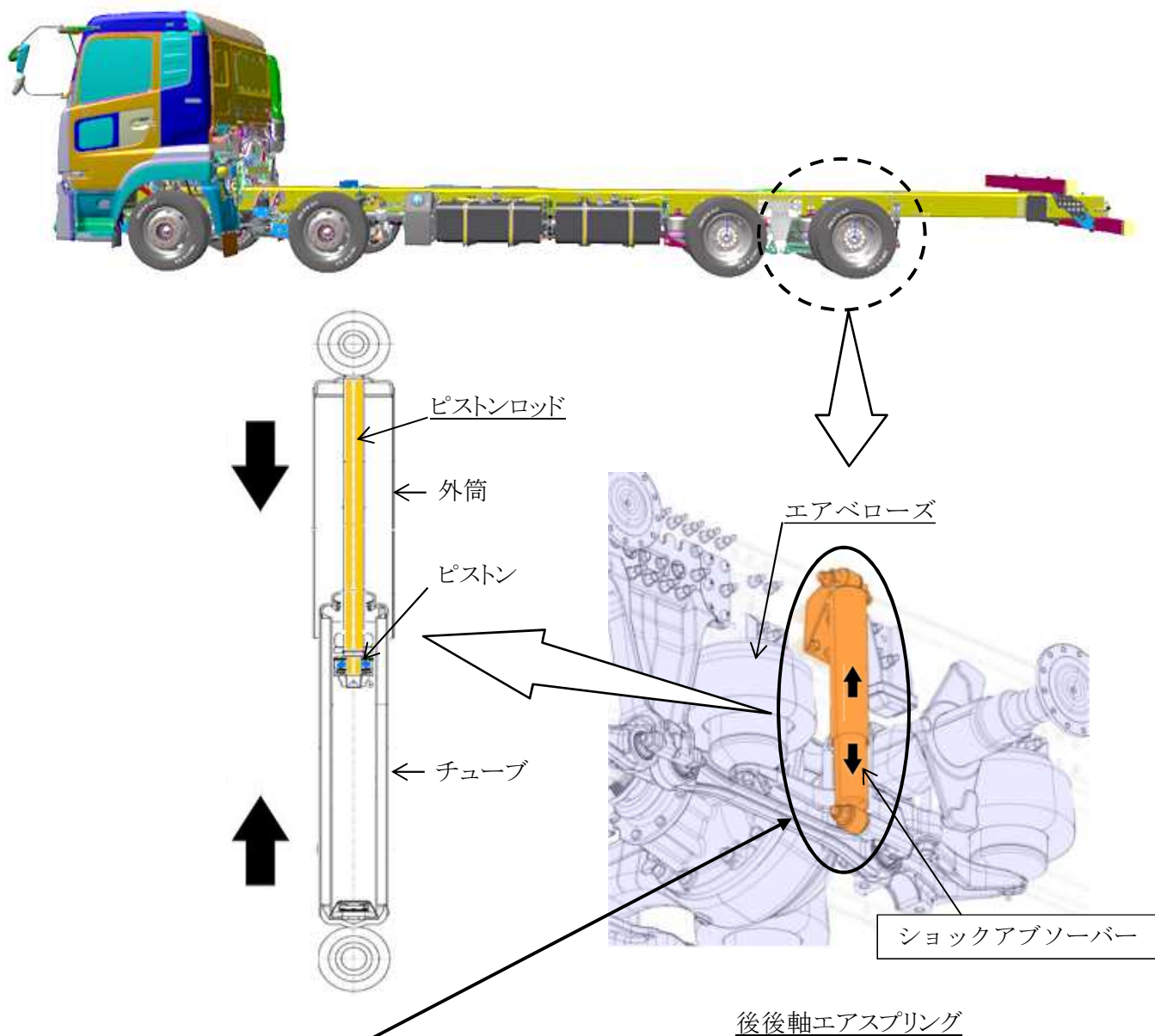


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

大型トラックの後2軸エアサスペンション仕様において、車高調整装置の最大車高設定値が不適切なため、荷役作業時等で最大車高まで上昇させた場合に、後後軸のショックアブソーバーが最大可動範囲を超え、その後車高を下降した際に内部部品が変形してスムーズに下降しなくなることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ショックアブソーバーのピストンロッドが折損して、エアスプリングと干渉しエア漏れを起こす、もしくはタイヤと干渉してバーストし、最悪の場合、発熱により発火するおそれがある。

改善措置の内容

全車両、車高調整装置のプログラムを変更するとともに、ショックアブソーバーを点検し、損傷がある場合は新品に交換する。

注： は措置する部品を示す。

識別： ショックアブソーバーに黄色のペイントを塗布する。